

## 朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 1章1-6a節 (新約聖書1頁)

- 1 アブラハムの子ダビデの子、イエス・キリストの系図。
- 2 アブラハムはイサクをもうけ、イサクはヤコブを、ヤコブはユダとその兄弟たちを、3 ユダはタマルによってペレツとゼラを、ペレツはヘツロンを、ヘツロンはアラムを、4 アラムはアミナダブを、アミナダブはナフシオンを、ナフシオンはサルモンを、5 サルモンはラハブによってボアズを、ボアズはルツによってオベドを、オベドはエッサイを、6 エッサイはダビデ王をもうけた。

### 赦しの系図

紀元前6世紀、旧約聖書の世界では古代イスラエル人が祖国を失い、ユダヤ人として世界を放浪することになりました。エジプトのアレキサンドリア、ギリシアのアテネ、そしてローマなど当時の世界中に散らされました。しかし彼らは祖国の誇りと自信を失いませんでした。

やがて異国で生まれた子どもや孫が母国語を読めなくなると、彼らの聖書である『律法』を世界共通語であったギリシア語に訳し、読み聞かせ、神様を信じる大切さを伝え続けました。そしてダビデのような王様が現れ、王国を復活すると教えていたのです。

そこへ現れたのがイエスです。イエスは、律法は神様を愛し、隣人を自分のように愛するためがあると、ユダヤ人だけでなく異邦人、そして律法を守れない病人、体の不自由な人、貧しい人、罪人と共に食事をし、神様は罪人をも愛されていると伝えました。

マタイはそれをイエスの系図にしました。系図は男性だけのものでしたが、この系図には四人の女性が登場します。それも罪ある女性たちです。義父を騙して子を産んだ女性、体を売っていた娼婦、伴侶を

失い、落ち穂拾いをして飢えをしのいでいた女性です。悲しみに耐えながら、貧しさと戦い、神様を愛し生き続けた女性たちでした。

こうしてイエスの系図には罪ある女性たちがいることを通して、救い主は罪人を赦し、愛される方だと伝えていきます。

(しばらく黙祷しましょう)

祈禱 祈りましょう

わたしたちを愛し、励まされる主よ。この一年を終えようとしている今、私たちは世界の人々と共に、こんなにも長く困難な日々を過ごすとは思っていませんでした。そして今も、あなたに問い、救いの時を祈り求め続けています。被災され避難生活を続けている方々、感染症と向き合っている方々、貧しさに希望を失いかけている方々を覚えて祈ります。どうかあなたの光に励まされ、共に喜びと希望を抱くことができますようにお導き下さい。今日一日もすべてをあなたに委ね、安全で健康な学校生活を守り、自ら学び、共に学び合い成長させて下さい。主イエス・キリストによってお願い致します。アーメン